

[様式7-2資料 表]

「編入学奨学金継続願(編入学の2)」について

大学へ編入学後に第二種奨学金の継続貸与を希望する場合

対象者	継続貸与を認める条件	貸与期間	編入学した大学への提出書類
短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程で本機構の奨学生であった者で卒業又は修了した者(注1)	①大学が定める編入学制度に基づいて編入学したこと ②卒業・修了後1年以内であること(注1) ③編入学前の奨学金の「返還誓約書」を提出していること	編入学年月から編入校が定める修業年限の終期まで	①「確認書兼個人情報取扱に関する同意書」(学校保管) ②様式7-2表「編入学奨学金継続願(編入学の2)」 ③様式7-2裏「親権者欄」※該当者のみ ④様式7-2振込口座届表「第二種奨学金振込口座届(編入学の2)」 ⑤在学届(別途提出済又はスカラACより提出済の場合は添付不要)(注2) ⑥「入学時特別増額貸与奨学金申込書(編入学用 共通)」及び添付書類 ※希望者のみ(注3) ※収入に関する証明書類は学校保管

注1 卒業・修了が2022年3月であっても、卒業・修了前に「辞退」「廃止」「満期」等によってすでに貸与が終了しており、この貸与終了から編入学年月までの間に1年が経過した者は、対象となりません。

注2 在学届の提出は、原則としてスカラネット・パーソナルから行ってください。紙媒体で提出する場合は、学校で手続きについて確認してください。

注3 入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は、併せて「入学時特別増額貸与奨学金申込書(編入学用 共通)」及び父母又はこれに代わって生計を維持している人の収入に関する証明書類等の添付書類の提出も必要です(マイナンバー提出書ではなく、紙媒体での収入証明の提出が必要です)。収入金額により、追加の書類提出を求める場合がありますので、学校の指示に従い必要書類を揃えてください。

【利率算定方法の選択について】

①「利率固定方式」

貸与終了時に、奨学金の交付に充てた資金の借換えに充てる固定利率の財政融資資金の利率が返還完了まで適用されます。

将来、市場金利が上昇した場合も、市場金利が下降した場合も、返還利率は変動しません。

②「利率見直し方式」

貸与終了時は、奨学金の交付に充てた資金の借換えに充てる5年利率見直しの財投の利率が適用されます。その後返還期間中の概ね5年ごと(減額返還が適用されている期間の月数を2で除した月数及び返還の期限を猶予されている期間を除く)に各時点の財投の利率が適用されます。

将来、市場金利が上昇した場合は、貸与終了時の利率より高い利率が適用されます。

一方、市場金利が下降した場合は、貸与終了時の利率より低い利率が適用されます。

※※※裏面も確認してください※※※

「編入学奨学金継続願(編入学の2)」について

○振込口座について

奨学生として採用された時にどの口座を届け出たかがすぐわかるようにするため、振込口座の通帳のコピーを貼り付けて、保管しておくことをおすすめします。学校から指示があった場合、この用紙の上に奨学金振込口座として登録する口座の通帳のコピーを貼り付け、振込口座届に記入する際は、このコピーを確認しながら誤りのないよう記入してください。

★振込口座についての注意点

- ① **あなた本人**の預・貯金口座ですか(あなた本人以外の口座は使用できません)。
- ② 銀行等の**普通預金**又は、ゆうちょ銀行の**通常貯金**口座ですか。
- ③ 「編入学奨学金継続願(編入学の2)」と通帳などの口座名義人(カナ)が同じですか。
- ④ 金融機関名及び口座番号と支店名(ゆうちょ銀行以外の場合)、又は記号と番号(ゆうちょ銀行の場合)は正しいですか。(注1)
- ⑤ この通帳は、**1年以内に記帳**できましたか(=休眠口座になっていない)。
- ⑥ 信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等は**振込みできません**。(注2)

注1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。

注2 一部の信用組合は振込みできません。

《ゆうちょ銀行の例》

- ・本人名義の通常貯金口座を使用します。
- ・ゆうちょ銀行の場合、「記号」及び「番号」を入力します。
- ・「記号」と「番号」の間に数字がある場合、その数字は入力しないでください。
例: ○○○○-1-○○○○○○○○
(5桁) ↑ (最大8桁)
 入力しない
- ・「店名」や「口座番号」は使用しませんので、十分注意してください。

× 「店名」「店番」「口座番号」は使用しません。

《ゆうちょ銀行以外の金融機関の例》

- ・本人名義の普通預金口座を使用します。
- ・「金融機関名」、「支店名」、「口座番号」を入力します。誤りのないよう入力してください。
※類似した名称には注意してください。
例: 「埼玉りそな銀行」と「りそな銀行」、「信用金庫」と「信用組合」、「○支店」と「○○駅前支店」など

「記号」と「番号」を使用します。

※※※表面も確認してください※※※